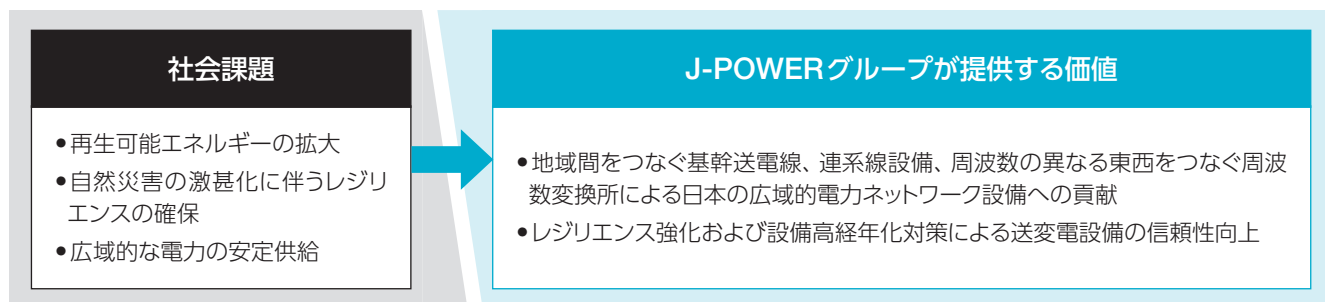


送電事業(託送)

J-POWERグループは、全国に総延長約2,400kmに及び送電線と9ヵ所の変電所・変換所を保有・運転している送電事業者であり、全国の電力会社の系統の一部を担い、異なる地域電力会社間を連系して、日本の電力系統全体を広域的に運用するうえで大きな役割を果たしています。特に本州と北海道・四国・九州のそれぞれをつなぐ広域連系設備(北本連系設備、本四連系線、阿南紀北直流幹線、関門連系線)や、周波数の異なる東日本(50ヘルツ)と西日本(60ヘルツ)をつなぐ佐久間周波数変換所は、日本の広域融通を担う重要な設備です。

今後も設備の信頼度を維持・向上し、安定的な稼働確保に力を注ぐことで、日本の電力の安定供給に貢献していきます。



送変電部門の分社化

当社は、電気事業法に定める送電事業の法的分離に対応し、送変電部門の一層の中立性を確保することを目的として、2019年4月1日に、送変電部門を分社化するための準備会社(当社100%子会社)を設立しました。2020年4月1日に同社名を「電源開発送変電ネットワーク(株)」(Jパワー送変電)に変更し、送電事業を承継しています。

Jパワー送変電は、送電事業者として、送変電設備の安定的な稼働と今後の広域的なネットワーク形成を担い、保有する送変電設備と人材を最大限に活かして電気を送り続けていきます。



- 地域間をつなぐ基幹送電線等、総延長約2,400kmの送電線
- 周波数の異なる東西日本をつなぐ周波数変換所

主な設備

- 変電所(変換所含む)
- 送電線
- 建設中送電線



佐久間周波数変換所増強計画

2016年6月に電力広域的運営推進機関にて策定された広域系統整備計画において、佐久間周波数変換所の増強計画が示され、J-POWERはその事業実施主体として選定されました(本計画はJ

パワー送変電に承継)。政策的要請や安定供給確保といった本計画の趣旨を踏まえ、工事実施に向けた詳細検討を進めています。

取り組み内容	容量	備考
新佐久間周波数変換所新設および関連送電線増強建替	新佐久間周波数変換所: 30万kW 佐久間東幹線 約125km 佐久間西幹線 約14km	調査測量中 2027年度末増強完了予定